

令和4年度 第2回 摂津市立男女共同参画センター運営委員会 要点録

日 時：令和5年2月27日(月)14時～15時20分
場 所：摂津市立男女共同参画センター 交流室
出席者：摂津市立男女共同参画センター運営委員6名
事務局：人権女性政策課4名
案 件：(1)委嘱式

- (2)委員長及び副委員長選出
- (3)令和4年度事業実施中間報告
- (4)令和5年度事業計画(案)
- (5)その他

配布資料：・資料1 令和4年度摂津市立男女共同参画センター事業一覧
・資料2 令和5年度摂津市立男女共同参画センター事業計画(案)
・資料3 令和4年度月別相談件数一覧表
・資料4 相談件数におけるDVの割合の推移
・資料5 令和5年度 男女共同参画市民企画協働事業 チャレンジ企画の募集
・2月セミナーガイド
・3月セミナーガイド
・ウィズ通信VOL.32
・ウィズせつつフェスタ2023

案件(1)委嘱式

- ・委嘱状交付

案件(2)委員長及び副委員長選出

- ・委員長及び副委員長継続

案件(3)令和4年度事業実施中間報告

- ・新型コロナウイルス感染症の第7波が夏場にピークを迎えたが、換気などの感染対策を講じて講座を開催。(中止した講座なし)
- ・コミュニティプラザの待合スペースや通路から男女共同参画センターの図書コーナーや事務所が見渡せるように、情報ラック・図書などの配置を一新し、壁面がガラスで覆われているメリットを活かし見通しを良くした。まずは、センターの周知を図る、センターに入りやすくする、コミプラに市民図書館の本を返却してきた方を図書コーナーに誘引する、講座に繋げるといったことが主な目的。利用者からも「部屋が明るくなった」・「入りやすくなった」など感想が寄せられた。

【事業内容】

- ・ウィズせつつカレッジ入学記念講演を兼ねた男女共同参画セミナーでは「川口加奈さん」をお招きし、「誰もが何度でもやり直せる社会をめざして～Homedoor の挑戦から学ぶ～」と題して講演会を実施。参加者からは「他人事ではない」「今何が大切なのか、自分が支援できることのチャレンジを考えさせられた」などの感想が寄せられた。
- ・ウィズせつつカレッジ 2022 では「子どもたちの未来を育む大人のチカラから～自分にまる・みんなにまる～」と題し、全 10 回の講座を実施。前期は「男女共同参画」・「子どもたちを取り巻く現状」・「ジェンダー不平等に起因する様々な問題や取組」について学び、後期は、子どもたちの未来を育むために私たちに何ができるかを学び、それぞれ自分の思いを発表し、全体で共有した。
- ・「SDGS コトハジメ途上国の可能性」と題した講座では、「目標 1」「目標 5」「目標 12」について、持続可能な社会に向けた取り組みや、女性活躍について、身の回りの身近な事柄から学ぶ機会とした。「商品が作られる背景を深く知れ良かった。」「お互いの顔が見えるよう、作り手側と買い手側が互いに相手のことを知ろうとすることで、誰も泣かない誰も切り捨てない社会の一步に繋がるよう感じた」といった感想が寄せられた。
- ・「ヤングケアラー～当事者の声を聴く～」では、地域や学校で認知されにくいことが、ヤングケアラーの問題を深刻化させている原因の一つであるということから、当事者の声を聞き、どのような支援ができるのかをねらいとして講座を実施。元ヤングケアラー当事者 2 名をお招きし、自身の体験談を聴かせていただき、これからできることを共に考え、思いを共有しました。「気になっていたテーマだが話を聞く機会がなく参加できて良かった」「自分に何ができるのか考えることができた」「これからはアンテナをしっかりと張っていきたい」といった感想が寄せられた。
- ・「みんなで孤立をなくせ」は 2 回の講座を実施、どちらもカードを使用し、ワークショップ形式で参加者がお互いの想いや考え方を共有した。「考えたことのない死生観について考えることができ、自分を見つめる良い機会となった」といった感想が寄せられた。
- ・「アドラー心理学の勇気づけ」については、来月 3 月 11 日・18 日と実施予定。現時点で定員に達しており、キャンセル待ちの講座となっている。
- ・「男性のための知って得する洗濯豆知識と簡単、キレイに仕上げるアイロン講座」は、座学と実際にアイロンを使用した実技を実施。質疑では身近な質問に対して豆知識を披露され、また、カッターシャツのたたみ方も教わり、すぐにでも実践できる講座となった。
- ・「就活やビジネスシーンで差がつく 男性のための、肌マネジメントセミナー」では、講座開始時は緊張した表情であったが、顔パックや眉毛の整え方などの実技が進むにつれ、積極的に講座を受講し、終始リラックスされていた。申し込みが不調でありましたが、最終的には 10 名の参加があり、「明日

から実践してみる」といった感想もあり、満足した内容となったが、男性向け講座は申込に際し、少しハードルがあるとも感じた。

- ・「人生が変わる韓国ドラマ～おススメ韓国ドラマとワンポイントハングル～」では、韓国ドラマはエンターテインメントの要素の中に、社会問題を織り込んでおり、多くの人を惹きつけている理由でもある。人権やジェンダーに敏感な視点の韓国ドラマを紹介する中で、文化の多様性を考える機会とすることを目的に実施。
- ・「ラク家事整理術」では、共働き世帯や子育て世帯向けに、暮らしに役立つ情報を伝えること、また、生活環境の整え方を学び、時間や気持ちにゆとりのある豊かな生活を得ることで心身の健康を促すことをねらいとして講座を実施。
- ・「ウイズギャラリー作品展」では、自己表現の手段として制作活動をするプロ、アマ問わず、女性アーティストの作品の発表の場を提供。観覧者からは「作品全部が作者の思いが伝わってくるようなオーラがある」「色々なジャンルがあって見ごたえがありました」などの感想が寄せられた。
- ・「働くゼミ 働く世代のためのアンガーマネジメント&ペップトーク」では、30代・40代の方も多く参加され充実した講座となった。また、一時保育を希望の女性から申込みがあった際に、「パートナーの方も是非ご一緒に」と声掛けを行い、お二人揃って参加された方もおられ、新たな受講に繋がった。
- ・子育て世代を主なターゲットとして講座を実施し、「パパを楽しむ！前向き子育て」では、父親同士が交流を深めました。
- ・11月の「児童虐待防止月間」と「女性に対する暴力をなくす運動期間」にあわせ、「パープルリボンのオブジェ」や「パープルリボンタペストリー」を作成し、エントランスに展示した。また、パープル&オレンジリボンセミナーとして「虐待は見守りでは防げない～対話力をつける～」と題して、家庭児童相談課と共催で、コンベンションホールでセミナーを実施。参加者からは「とても心揺さぶられる講演でした」「今の自分に必要なのは対話力でした」などの感想が寄せられました。
- ・「親子で楽しく防災遊び～その時、あなたを守るあなたになろう～」は、3月19日に実施予定で工作やクイズを交え親子で楽しく防災について学べる内容。
- ・若年層へのデートDVの啓発は、今年度に関しては市内の中学校、全5校で実施。全5校での実施は養護教諭が集まる会合で説明する機会を設けていただいたことも要因としてある。高校については案内させていただいたが、カリキュラムの関係もあり実施するまでには至っていない。引き続き若年層への啓発を実施していく。

- ・「ウィズ de BOOK」は今年度からの試みだが、交流室を読書スペースとして提供。一時保育も行い子育て世代に向けて「センターの更なる周知」・「図書貸出し促進」「講座の宣伝」を実施。子育て中になかなか時間の取れない利用者からは「ゆっくりできました」などお声をいただいている。また、回を重ねるごとにレイアウトを工夫し、ゆっくりと読書ができる時間・空間を提供している。
- ・チャレンジ企画では各団体が主体となって3企画を実施。
- ・「ウィズせつつフェスタ 2023」は2月26日に展示を先行して実施中。3月4日はコンベンションホールで推進団体のワークショップと発表を行う。舞台発表では「絵本の朗読と作者のおはなし」と「音楽ミニコンサート」で会場を盛り上げてフィナーレを迎える予定。
- ・総合相談（婦人相談員）、面接相談（フェミニストカウンセラー）、法律相談（弁護士）の3種類の相談を実施。総合・面接・法律を合わせると平均して月に80件程度。
- ・相談件数におけるDV相談の割合は例年、概ね20%前後。今年度は27%と多くなっている。特に来所相談におけるDVの割合が58%と例年の2倍近くになっている。
- ・年齢別件数は30代が突出して多く、40代、50代と続いている。また、18歳未満のこどもがいる相談者が多い。面前DVの可能性も高いことから家庭児童相談課との連携の強化が必要なことから要保護児童対策地域協議会（要対協）に今年度から婦人相談員も参加している。また、75歳以上の方からの相談もあり、高齢介護との連携を図っていきたい。
- ・「緊急一時保護」「保護命令申立」「住基閲覧制限意見書」「DV証明意見書」これら相談に基づく支援を実施している。

【質疑】

- (委員) 中学校に対するデートDV出前講座について、全中学校に実施したことは良い取組である。養護教諭や関係部署などと連携して、これからも継続して実施してほしい。
- (委員) デートDV予防啓発ユースリーダー養成講座とはどのような内容か。
- (事務局) 人間科学大学に対して、ゼミの一部として実施している。ユースリーダー養成講座を受講した昨年度の卒業生の中に大阪府のこども関連部署に就職した生徒がいる。当初のきっかけは、保育士や幼稚園教諭を目指す学生に虐待の視点を持って、今後就職してほしいといったことから始めた。保育士は日頃から子どもの生活を見ており、また、親は身近な保育士に相談しやすいため。要対協では特定妊婦など若年者も対象となっているが、大学生が市に相談に来るかと言えばなかなか相談には来ない。市に相談に来なくてもゼミを受けた生徒が、例えば男女間の関係で「それはおかしいよ」と言ってくれる友達が周りにいる大切さや支援に繋がればと思う。
- (委員) DV証明意見書とはどのような内容か。
- (事務局) 今回の2件は、児童手当の受給者変更。相談員が相談を受けて、公的支援に繋げる。

(委員) DV 証明意見書は摂津市独自のものか。

(事務局) 全国で実施している。ただし、規模の小さい市町村は、婦人相談員が配置されていないことがあり、その場合は都道府県での証明となる。摂津市は平成 31 年度から婦人相談員として位置づけされており、DV 意見証明書が記載できる。また、接見禁止の保護命令申立は配偶者暴力相談支援センターが担っており、摂津市は申立の記載方法などの支援のみ可能。

(委員) 弁護士の相談は一人 1 回 30 分か。

(事務局) そのとおりで、相談は年度に 1 回までとしている。

(委員) 男性問題の講座についての参加者は、全て男性の参加者か。

(事務局) 男性を中心に募集したが、人数に余裕があったため、ご夫婦で参加された方もおられる。

(委員) 講座は平日の昼間が多いのか。

(事務局) 夜間は実施していないが、土日の講座を多く実施している。

(委員) デート DV の講座は参加しにくかったのか。

(事務局) 募集を行ったが、なかなか集まらなかった。大阪府は府域からの参加者があるが、摂津市は地域が狭く、参加することによりカミングアウトしていると思われるのではと感じられた方もおられ、ハードルが高かったかのかも知れない。

(事務局) 今年度、家庭児童相談課と共催でオレンジ&パープルセミナーを開催し、森田さんにお越しいただいた。令和 5 年度から家庭児童相談課が MYTREE ペアレンツ・プログラムをスタートさせる。このように他課との連携を図りつつ、コントロールすることが難しい母親を責めるだけではなく、回復プログラムで支援できればと思っている。

(委員) 色々なネットワークが必要であると思う。相談者が取り残されることがないように、連携を図ってほしい。

(事務局) ヤングケアラーの講座を実施したが、ヤングケアラーには様々な要素がある。課題の一つ一つを解決しなければヤングケアラー問題は解決に至らない。例えば障害があることの介助であればどのようなサービスを提供するか、高齢者のお世話であれば高齢介護課との連携が必要である。連携について重層的支援体制で横の繋がり、社会福祉協議会との連携や行政機関である相談業務連絡会を開催するなど、どこかでキャッチする体制を構築していている。

案件(4)令和 5 年度事業計画 (案)

- ・事業の項目をウィズプランに記載している施策と合わせる形で「男女共同参画についての意識形成」・「男女平等教育・学習の推進」・「あらゆる分野への男女共同参画の促進」・「労働における男女平等の推進」・「男女の自立を支える福祉環境の整備」・「生涯を通じた女性の健康支援」・「女性に対するあらゆる暴力の根絶」に改めた。また、SDGS の項目を新たに記載した。

【事業内容】

- ・「男女共同参画についての意識形成」
LGBT についての啓発、講座を実施予定。
- ・「男女平等教育・学習の推進」

ウィズ de Book は会場レイアウトの工夫・改良を重ね、回数を増やし引き続き実施予定。また、親子で参加する講座は、長期休暇の期間等も踏まえ参加しやすい時期を検討する。

・「あらゆる分野への男女共同参画の促進」

ウィズせつつカレッジ 2023 は、6月24日（土）に入学記念講演として講演会を実施予定。また、防災関連についても親子で楽しく参加できる講座の実施予定。

・「労働における男女平等の促進」

パソコン関連として、学習環境の提供や簡単なパソコンの使い方などの講座予定。また、SNSについて、効果的に活用していく講座の実施予定。

・「男女の自立を支える福祉環境の整備」

子育て世代、子育て中の親子を主なターゲットとして子育てに関する講座の実施予定。

・「生涯を通じた女性の健康支援」

複数回予定しており、女性の健康に関する講座を実施予定。

・「女性に対するあらゆる暴力の根絶」

オレンジ&パープルのダブルリボンセミナーは、DV防止の啓発展示と合わせて11月に実施予定。また、DVやストーカーなどに焦点をあてた講座を実施予定。

【活動・交流支援事業】

・チャレンジ企画については、募集は4月25日（火）まで、審査会 は5月13日（土）予定。運営委員の中から審査員を選出いただきたい。（立候補ありで決定）

・中学校へのデートDV出前授業、大学へのユースリーダー養成講座については、引き続き実施予定。高校についても実施できるよう説明していく。

【質疑】

（委員）今後、内容の詳細を詰めていくと思うが、講座のタイトルは表現を工夫するなど誤解が生じないタイトルが望ましい。

（委員）参加者が申込みしやすいタイトルの工夫が必要。

（委員）内容について異論はないが、一般的に広がっていない言葉がタイトルに使われると分かりにくい。キャッチコピーは難しいが、テーマに沿って受け取る側にとってわかりやすいタイトルにしてほしい。

（委員）日本のジェンダーギャップ指数は低いですが、世界に目を向けた講座は良かったと思う。中高生が参加しやすい、講座も企画も検討してほしい。

（委員）SNSに関する講座については、使い方の講座は開催しやすいと思うが、一方で攻撃される、誹

謗中傷に繋がるといったこともあることから、ルールやモラルを学べるものなど、内容を慎重に検討してほしい。

(委員) SNS については、小学生・中学生向けのリテラシーの講座も必要かと思う。

(事務局) 内容の日程の詳細については、講師との調整などもあることから、本日の意見も踏まえ今後詰めていく。

(委員) パパ講座のリニューアルとは。

(事務局) パパ講座は親子で参加していただき、交流を深め参加された方は友達になる方もおられるが、なかなか次に続かない。協力していただいた団体さんからも同様のお声がある。

(事務局) 隔月や3か月に一度行うといったように、今後考えていく必要があると思われる。

(委員) ファシリテートが重要となるが、自主グループに繋がるかもしれない。

案件(5)その他

- ・令和5年度第1回運営委員会の開催について
令和5年7月中旬から下旬の予定